

科目名称:特別活動の指導法					
担当者名:今井 和愛					
科目群(区分)	開講予定時期	授業形態	必修・選択	単位数	卒業認定・学位授与の方針との関連
教職	4年前期	講義・演習	自由	2	自由科目につき該当なし(自由科目につき該当なし)
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施無し		ナンバリング		16302043
<p>授業概要:特別活動は、学級活動・生徒会活動・学校行事で構成される。豊かな心を持ち、たくましく生きる人間の育成、国民として必要とされる基礎的・基本的な内容を重視し、個性を生かす教育の充実、自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応できる能力の育成、国際理解を深め、我が国の文化と伝統を尊重する態度の育成等の人間としての生き方の自覚を深め、好ましい人間関係を育てる。</p>					
<p>到達目標:学校における様々な構成の集団での活動を通して、課題の発見や解決を行い、よりよい集団や学校生活を目指して活動する。特別活動の意義等を理解したうえで、指導の在り方も理解しながら指導法を探究する。</p>					
授業計画			準備学習とその所要時間(分)		
第1回 特別活動とは			講義内容に関する自主学習を行うこと(60)		
第2回 特別活動の改訂の経緯・趣旨			前回講義で提示した課題(30)		
第3回 特別活動の基本的性格と目標			前回講義で提示した課題(30)		
第4回 教育課程における特別活動の位置づけと指導の在り方			前回講義で提示した課題(30)		
第5回 学級活動、ホームルーム活動の目標			前回講義で提示した課題(30)		
第6回 学級活動、ホームルーム活動の特質と活動内容			前回講義で提示した課題(30)		
第7回 生徒会活動の目標・特質と活動内容			前回講義で提示した課題(30)		
第8回 学校行事の目標、特質と活動内容			前回講義で提示した課題(30)		
第9回 特別活動の内容相互の関連			前回講義で提示した課題(30)		
第10回 特別活動と各教科、道徳、総合的な学習の時間との関連			前回講義で提示した課題(30)		
第11回 特別活動の指導計画の作成(1)全体計画と年間計画			前回講義で提示した課題(30)		
第12回 特別活動の指導計画の作成(2)学習指導案			前回講義で提示した課題(30)		
第13回 特別活動における取組の評価・改善活動			前回講義で提示した課題(30)		
第14回 話し合い活動、意思決定につながる指導及び集団活動の意義や指導の在り方			前回講義で提示した課題(30)		
第15回 家庭・地域住民や関係機関との連携の在り方			前回講義で提示した課題(30)		
履修に必要な予備知識や技能:教育者としての資質充実のために読書。テキストの熟読。最近の教育ニュース等の情報の収集・熟読。					
課題に対するフィードバック:課題・レポートなどの成果物や授業中に提出したワークシートは、点検・添削された後次回以降の授業で、講評しながら返却します。それらを復習の材料として学習すること。					
評価方法・基準:定期試験 40%、レポート 20%、模擬授業 20%、受講態度(授業への参加度)20%					
教科書:教科指導「中学校学習指導要領解説 道徳編」文部科学省、参考書:「高等学校学習指導要領解説 道徳編」文部科学省					
備考:学習活動は、アクティブラーニング風のグループワーク中心です。					
実務経験の内容・期間:中学校教諭(4年)、高校教諭(30年)					